

大賞 ジャパンプローブ

音波は、空気中から固体にぶつかると伝わらない特性がある。検査対象を水中に入れ、グリスなどを塗って検査が必要があった。ジャパンプローブは、超音波を効率よく空

射できる高出力の送信器

感度の受信器により、装置

の開発に成功した。

0.5mm四方の平面を0.2

mmで測定し、400秒

間隔で測定し、

超音波を投射して検査

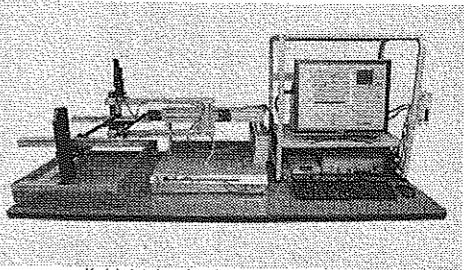
システムの開発に成功した。

NAUT21は、超音波を効率よく空

射できる高出力の送信器

感度の受信器により、装置

の開発に成功した。



非接触超音波探傷システム
「NAUT21」

検査を水中で行ったり、検査

対象にグリスを塗るなど、特別な環境や準備が必要なくなるため、非破壊検査の効率が大幅に向上了。また、水に濡れると困難であった材料の非破壊検査を非接触で高速に行うことが可能になった。

用途はCFRP・GFRPなどの複合材、金属、コンクリート、木材、硝子、セラミック

ス、発泡体などの検査に使用で

きる。またチウムイオン電池

のような単一素材ではない積層構造体の剥離、空気層の検査もできる。

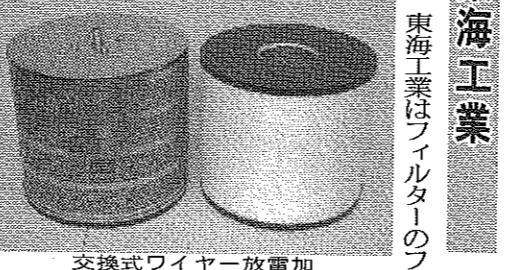
用途はCFRP・GFRPなどの複合材、金属、コンクリート、木材、硝子、セラミック

ス、発泡体などの検査に使用で

きる。またチウムイオン電池

のような単一素材ではない積層構造体の剥離、空気層の検査も

できる。



東海工業はフィルターのフィ
ヤー放電加工機用ろ過フィルタ
ー』

交換式ワイヤー放電加工機用ろ過フィルター

的にフィルターが一体型で、使用後

ルターが交換式のフィルター

で、が廃棄物となる。ろ

に堅く、潤滑性が良く、低

撃抗を実現し、耐蝕、耐

性に優れるなど、多くの利

能をもつ交換式のフィル

ターアレメントがこれまで十

べてが廃棄物となる。ろ

能と水深30cm程度に匹敵す

る。しかし、小型軽量化

では、炭素との親和性が

大きな硬度差から、密着

性が悪く、ほど離などが生じる

ため、DLC膜を付けた部品と

して商品化が難しかった。

アルミニウム合金へのダイ

モンドライクカーボンコ

イング技術』

イヤモンドライクカーボン

DLC膜はダイヤモンド

特性を持つ炭素の被膜。

に堅く、潤滑性が良く、低

撃抗を実現し、耐蝕、耐

性に優れるなど、多くの利

能をもつ交換式のフィル

ターアレメントがこれまで十

べてが廃棄物となる。ろ

能と水深30cm程度に匹敵す

る。しかし、小型軽量化

では、炭素との親和性が

大きな硬度差から、密着

性が悪く、ほど離などが生じる

ため、DLC膜を付けた部品と

して商品化が難しかった。

アルミニウム合金へのダイ

モンドライクカーボンコ

イング技術』

イヤモンドライクカーボン

DLC膜はダイヤモンド

特性を持つ炭素の被膜。

に堅く、潤滑性が良く、低

撃抗を実現し、耐蝕、耐

性に優れるなど、多くの利

能をもつ交換式のフィル

ターアレメントがこれまで十

べてが廃棄物となる。ろ

能と水深30cm程度に匹敵す

る。しかし、小型軽量化

では、炭素との親和性が

大きな硬度差から、密着

性が悪く、ほど離などが生じる

ため、DLC膜を付けた部品と

して商品化が難しかった。

アルミニウム合金へのダイ

モンドライクカーボンコ

イング技術』

イヤモンドライクカーボン

DLC膜はダイヤモンド

特性を持つ炭素の被膜。

に堅く、潤滑性が良く、低

撃抗を実現し、耐蝕、耐

性に優れるなど、多くの利

能をもつ交換式のフィル

ターアレメントがこれまで十

べてが廃棄物となる。ろ

能と水深30cm程度に匹敵す

る。しかし、小型軽量化

では、炭素との親和性が

大きな硬度差から、密着

性が悪く、ほど離などが生じる

ため、DLC膜を付けた部品と

して商品化が難しかった。

アルミニウム合金へのダイ

モンドライクカーボンコ

イング技術』

イヤモンドライクカーボン

DLC膜はダイヤモンド

特性を持つ炭素の被膜。

に堅く、潤滑性が良く、低

撃抗を実現し、耐蝕、耐

性に優れるなど、多くの利

能をもつ交換式のフィル

ターアレメントがこれまで十

べてが廃棄物となる。ろ

能と水深30cm程度に匹敵す

る。しかし、小型軽量化

では、炭素との親和性が

大きな硬度差から、密着

性が悪く、ほど離などが生じる

ため、DLC膜を付けた部品と

して商品化が難しかった。

アルミニウム合金へのダイ

モンドライクカーボンコ

イング技術』

イヤモンドライクカーボン

DLC膜はダイヤモンド

特性を持つ炭素の被膜。

に堅く、潤滑性が良く、低